

JP28 による USB キーボード/マウスウェイクアップ機能の設定ジャンパー

Realtek Ethernet PHY

CD 入力コネクタ

S/PDIF コネクタ

フロントオーディオコネクタ

AC'97 CODEC

モデム入力コネクタ

CNR 拡張スロット

32 ビット PCI 拡張スロット 3 本

WOL コネクタ

第三 USB2.0 コネクタ

ケース開放センサーコネクタ

JP14 による CMOS クリアジャンパー

IrDA コネクタ

SYSFAN2 コネクタ

フロントパネルコネクタ

ATA100/133 IDE コネクタ (IDE1)

リセット可能なヒューズ

SYSFAN3 コネクタ

4 ピン 12V. ATX 電源コネクタ

低 ESR コンデンサー

AGP 4x 拡張スロット

478 ピン CPU ソケット (Willamette/ Northwood)、電圧及びクロックの自動検出機能付き、Intel® Pentium® 4 1.4~2.8GHz+ CPU をサポート

CPUFAN1 コネクタ

SIS 650GX/962L チップセット (MX46LS-V)
SIS 651/962L チップセット (MX46LS-533V)

168 ピン SIMM ソケット 2 個、PC100/133 SDRAM をサポート、最大 1GB まで搭載可能

ATX 電源コネクタ

2Mb フラッシュ ROM BIOS

FDD コネクタ

ITE IT8705F

ATA100/133 IDE コネクタ (IDE2)

インストールの準備



このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイージーインストールガイドに記載されています。さらに詳細な情報についてはオンラインユーザーズマニュアルか Bonus Pack CD ディスクに付属しています。地球保護へのご協力に感謝いたします。

付属品のチェックリスト

- ✓ I/O シールド1枚
- ✓ 当イージーインストールガイド 1部
- ✓ 80 芯線 IDE ケーブル1本
- ✓ フロッピーディスクドライブケーブル1本
- ✓ 登録用カード1枚
- ✓ Bonus Pack CD ディスク1枚



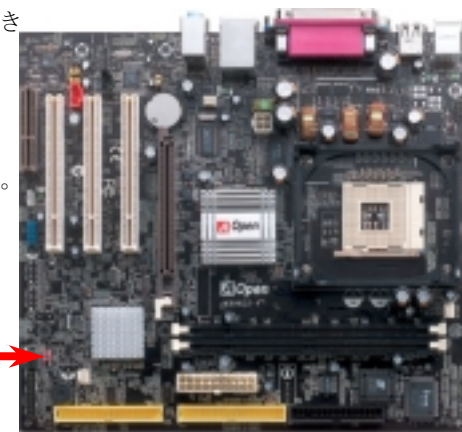
PART NO: 49.89U08.002

DOC. NO: MX46LSV-EG-E0301B

1. JP14 による CMOS クリア

CMOS をクリアする事でシステムの初期値設定に戻ることができます。CMOS のクリア手順は下記の通りです。

1. システムの電源を切り、AC パワーコードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを取り外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. 1-2 番ピンをショートして JP14 を通常の設定に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差し戻します。



1 番ピン



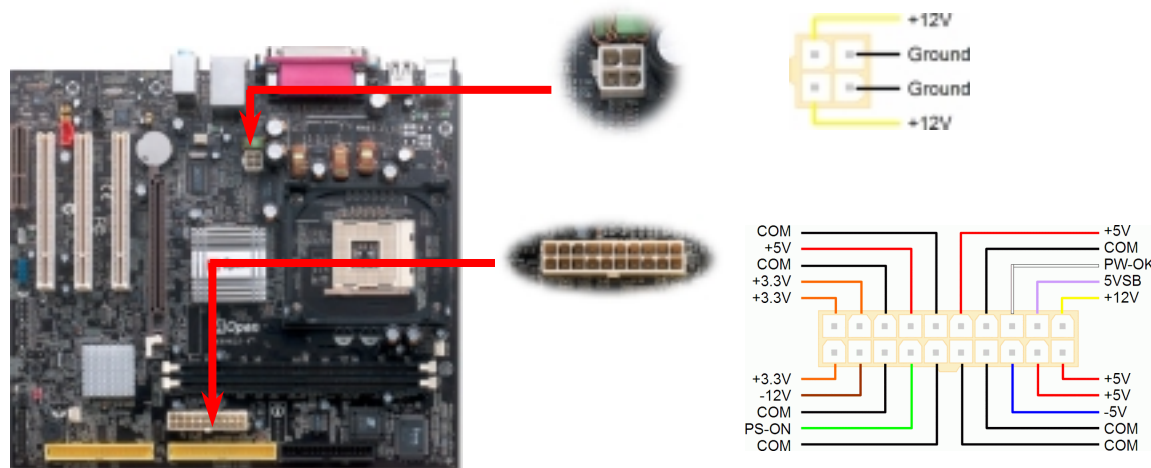
正常動作の場合 (初期値) CMOS クリアの場合

ヒント: CMOS クリアはどんな時に必要?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

2. ATX 電源コネクタの接続

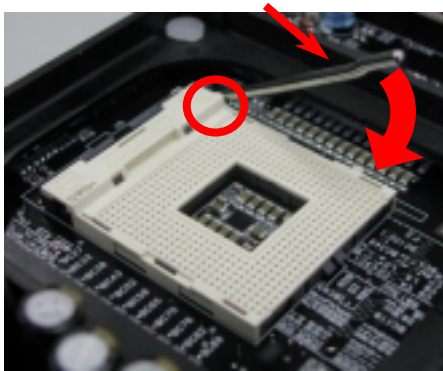
下図のように、このマザーボードには 20 ピン及び 4 ピンの ATX 電源コネクタそれぞれ 1 個が装備されています。差し込む際は向きにご注意ください。20 ピンのコネクタに接続する前に、まず 4 ピンのコネクタに接続するようご注意ください。



3. プロセッサのインストール

このソケットはインテルが開発した最新 CPU パッケージである Micro-FC-PGA2 をサポートしていますので、他のパッケージの CPU を装着することは不可能です。

CPU ソケットレバー

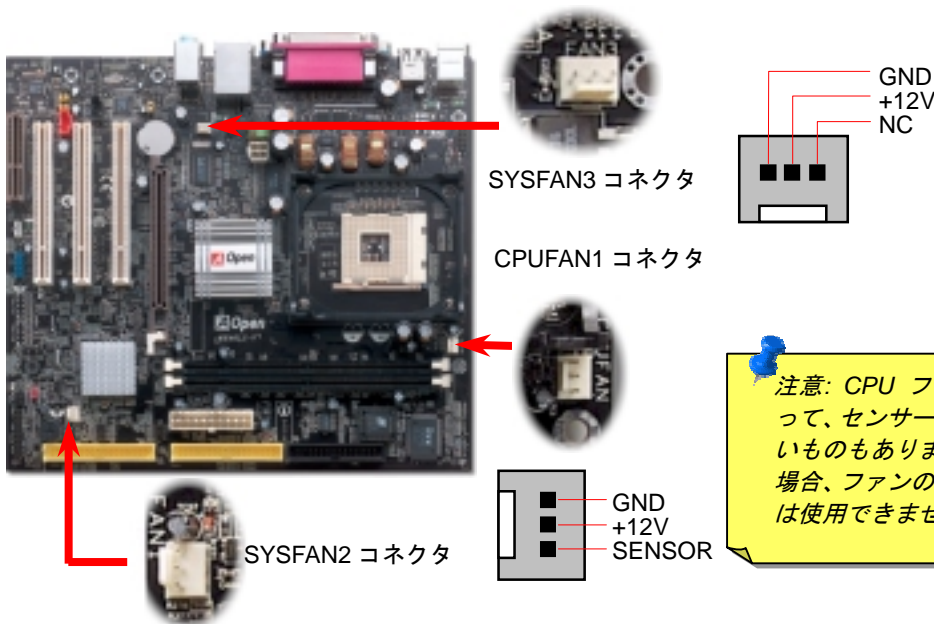


1. CPU ソケットレバーを 90 度引き起こします。
2. ソケットの 1 番ピンの位置及び CPU 上部の金色の面取り部を確かめてください。1 番ピン及び面取り部を合わせて、CPU をソケットに差し込みます。
3. CPU ソケットレバーを水平に戻しますと、CPU のインストールは完了です。

注意： CPU ソケットの1番ピンと CPU の面取り部を合わせてインストールしないと、CPU に損傷を与える可能性があります。

4. CPU 及びシステムファンのインストール

CPU ファンのケーブルは 3 ピンの CPUFAN1 コネクタに差し込みます。筐体ファンを使用される場合は、ケーブルを SYSFAN2 または SYSFAN3 コネクタに差し込むことも可能です。



注意： CPU ファンによって、センサーピンのないものもあります。この場合、ファンの監視機能は使用できません。

5. CPU 電圧及びクロックの設定

CPU コア電圧の設定

当マザーボードは CPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧が自動検出されます。

CPU クロックの設定

当マザーボードは CPU ジャンパーレス設計で、CPU クロックは BIOS セットアップから設定できますので、ジャンパースイッチ類は不要です。初期値の設定は"table select mode"であり、BIOS の"CPU Host/SDRAM/PCI Clock"項目より FSB を調整することでオーバークロックができます。

BIOS セットアップ > クロック / 電圧コントロール > CPU スピード設定

CPU レシオ	8x, 10x... 21x, 22x, 23x, 24x
CPU FSB (BIOS 一覧表より)	100及び133MHz.

Northwood CPU	CPUコア クロック	FSB クロック	システム バス	レシオ
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.6G	1600MHz	133MHz	533MHz	12x
Pentium 4 1.7G	1700MHz	133MHz	533MHz	13x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x
Pentium 4 2.2G	2200MHz	100MHz	400MHz	22x
Pentium 4 2.26G	2260MHz	133MHz	533MHz	17x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	100MHz	400MHz	24x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	133MHz	533MHz	18x
Pentium 4 2.53G	2530MHz	133MHz	533MHz	19x
Pentium 4 2.66G	2660MHz	133MHz	533MHz	20x
Pentium 4 2.8G	2800MHz	133MHz	533MHz	21x

警告： SIS 650GX / 651 チップセットは、最大 400MHz システムバス及び 66MHz AGP クロックをサポートしています。それより高いクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

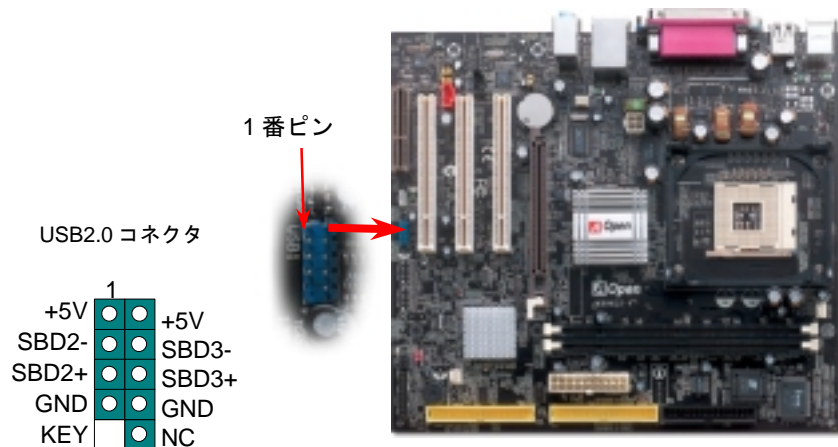
Willamette CPU	CPUコア クロック	FSB クロック	システム バス	レシオ
Pentium 4 1.5G	1500MHz	100MHz	400MHz	15x
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.7G	1700MHz	100MHz	400MHz	17x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 1.9G	1900MHz	100MHz	400MHz	19x
Pentium 4 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x

注意： 最新プロセッサの Northwood は自動的にクロックレシオを検出してくれますので、BIOS からクロックレシオを手動調整できない可能性があります。

Celeron CPU	CPUコア クロック	FSB クロック	システム バス	レシオ
Celeron 1.7G	1700MHz	100MHz	400MHz	17x
Celeron 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x

6. 第三 USB2.0 チャンネルをサポート

このマザーボードはマウス、キーボード、モデムやプリンター等の USB デバイスを接続するのに、USB コネクタを 4 個提供しています。二個は PC99 バックパネルにあります。適切なケーブルで他のコネクタをケースのバックパネルやフロントパネルに接続することが可能です

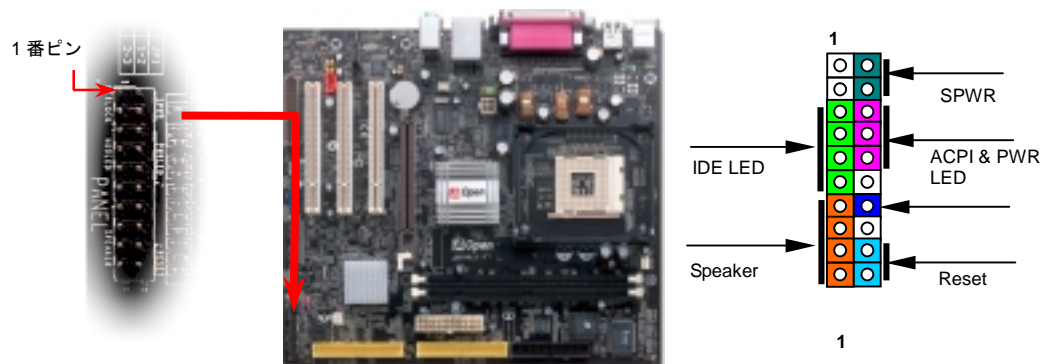


8. S/PDIF コネクタ

S/PDIF (Sony/Philips デジタルインタフェース)は最新のオーディオ転送ファイル形式で、アナログに取って代わるデジタルオーディオを光ファイバー経由で楽しめます。図示されているように S/PDIF 出力は 2 つあり、一方は大部分の消費型オーディオ製品に対応する RCA コネクタ、他方はより高品質のオーディオに対応する光コネクタです。専用オーディオケーブルにより、SPDIF コネクタと別の S/PDIF デジタル出力をサポートする S/PDIF オーディオモジュールを接続します。ただし、S/PDIF デジタル出力の長所を最大限活かすにはモジュールの SPDIF 出力を SPDIF デジタル入力対応スピーカーに接続する必要があります。



7. フロントパネルケーブルの接続



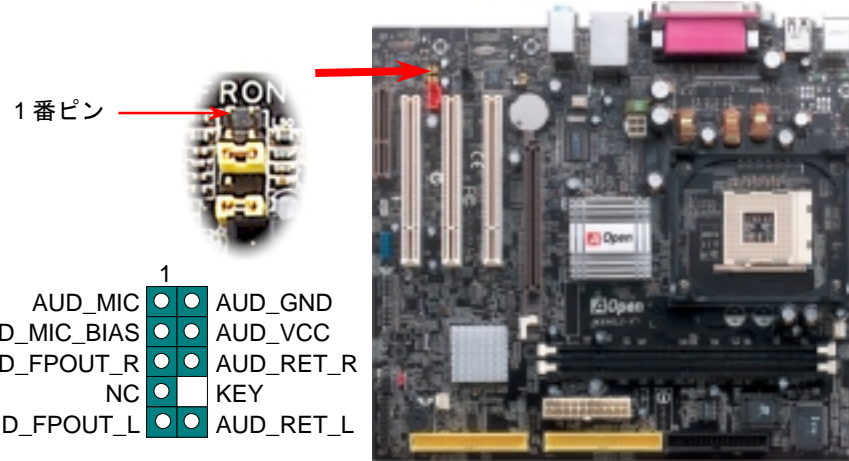
電源 LED、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差ししてください。BIOS セットアップで“Suspend Mode”の項目をオンにした場合は、ACPI 及び電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX 筐体における電源スイッチのケーブルを確認してください。これはフロントパネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを SPWR と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続してください。

1	NC	+	5V	+	5V
2	IDE	LED	+	5V	+
3	IDE	LED	+	5V	+
4	G	N	D	G	N
5	NC				
6	S	P	E	A	K

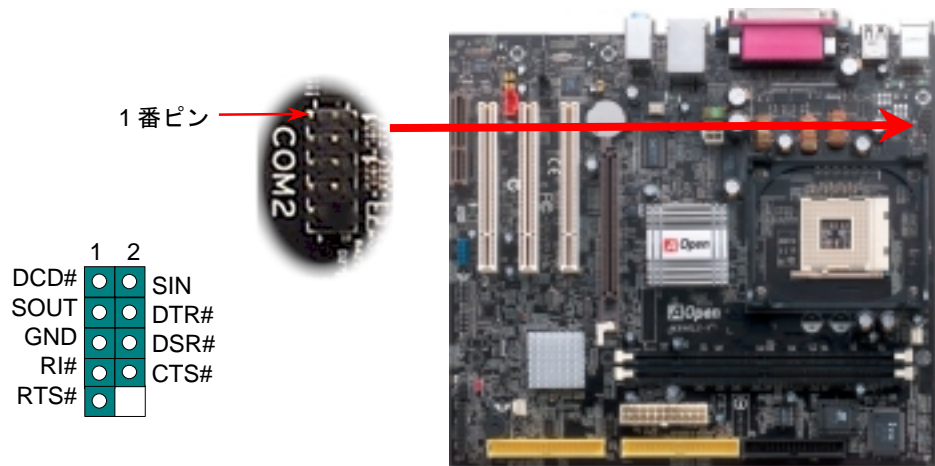
9. フロントオーディオコネクタ

ケースのフロントパネルにオーディオポートが設定されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントパネルオーディオコネクタからジャンパーキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は黄色いキャップを外さないでください。



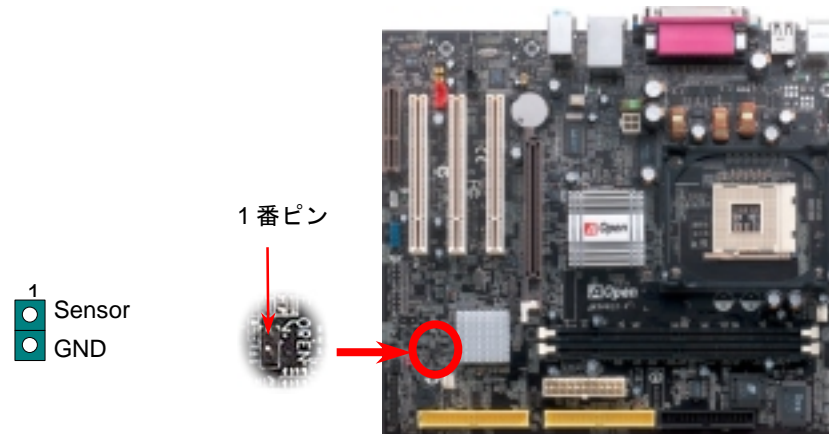
10. COM2 コネクタ

当マザーボードにはシリアルポートを 2 個装備しています。1 個はバックパネルにあり、1 個は下図に示されるとところに位置します。適切なケーブルにより、ケースのバックパネルに接続することができます。



12. ケース開放センサーコネクタ

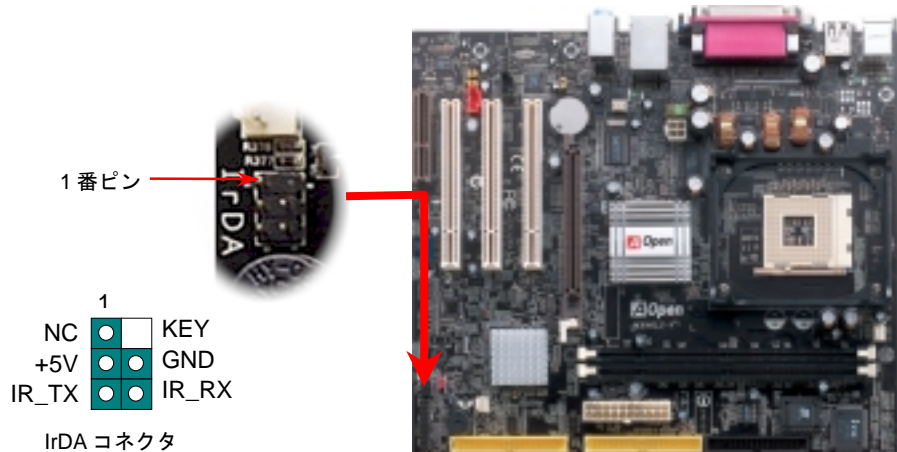
この“CASE OPEN”コネクタはケース開放監視機能を提供します。この機能を使用するには、システム BIOS からこの機能を有効に設定し、そしてこのコネクタをケースのセンサーに接続してください。光やケースの開放によってセンサーが起動されたら、システムはビービーの警告音声で知らせてくれます。この有用な機能はハイエンドのケースにしか使えないのでご注意ください。センサーを購入し、ご使用のケースに取り付けてこの機能を有効に利用することもできます。



11. IrDA コネクタ

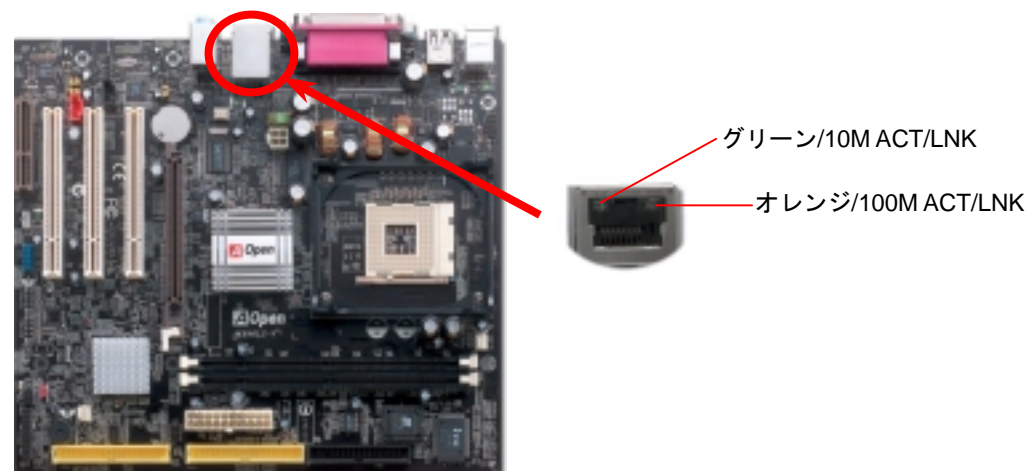
IrDA コネクタはワイヤレス赤外線モジュールの設定後、Laplink や Windows95 Direct Cable Connection 等のアプリケーションソフトウェアと併用することで、ユーザーのラップトップ、ノートブック、PDA デバイス、プリンタ間でのデータ通信をサポートします。

このコネクタは HPSIR (115.2Kbps, 2m 以内)および ASK-IR (56Kbps)をサポートします。IrDA コネクタに赤外線モジュールを差し込んで、BIOS セットアップの UART モードで正しく設定してください。IrDA コネクタを差す際は方向にご注意ください。



13. オンボードの 10/100 Mbps LAN 機能をサポート

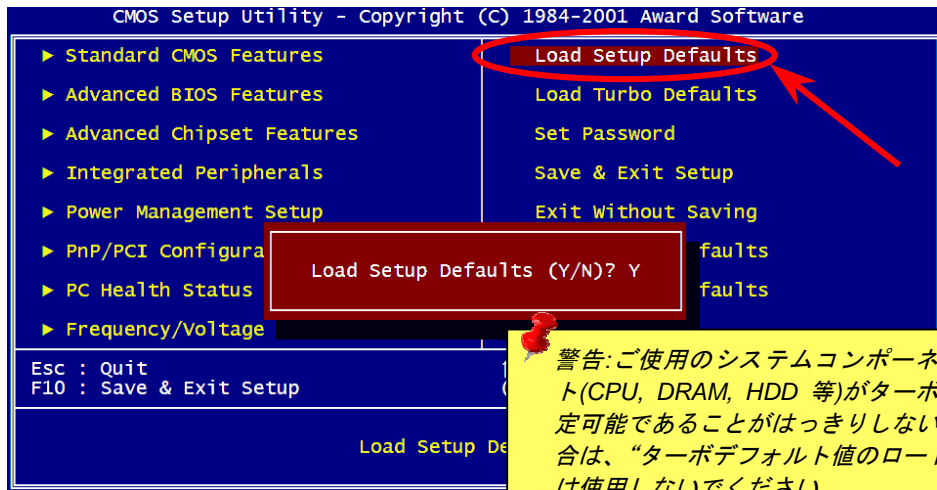
高度に統合化されたプラットフォーム LAN 接続デバイスである SIS LAN コントローラ及び Realtek PHY をオンボードで搭載することにより、オフィスや家庭用の 10/100M bps イーサネットを提供します。イーサネット RJ45 コネクタの位置は USB コネクタの上にあります。緑の LED はリンクモードを表示します。ネットワーク接続中に点灯しますが、データ転送中に点滅します。オレンジの LED は転送モードを表示し、100Mbps モードでデータを転送している際に点灯します。この機能をオン/オフするには、BIOS により調整可能です。



14. 電源投入及びBIOS セットアップのロード

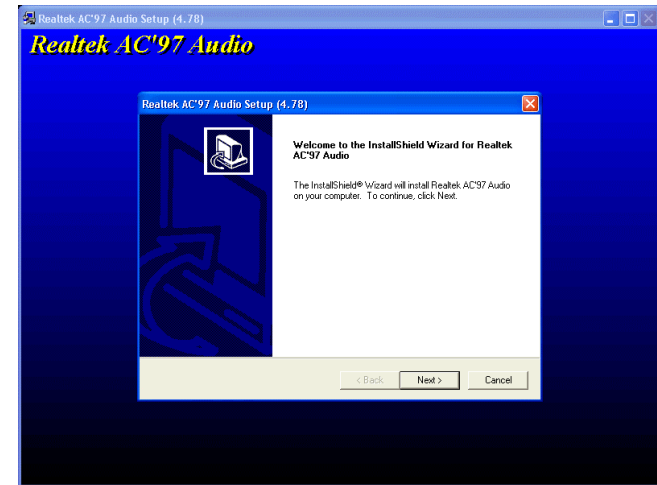
Del

ジャンパー設定およびケーブル接続が正しく行われたら、システムに電源を入れて、POST (電源投入時の自己診断) 実行中にキーを押すと、BIOS セットアップに入ります。最適なパフォーマンスを実現するには"Load Setup Defaults (デフォルト値のロード)"を選択してください。



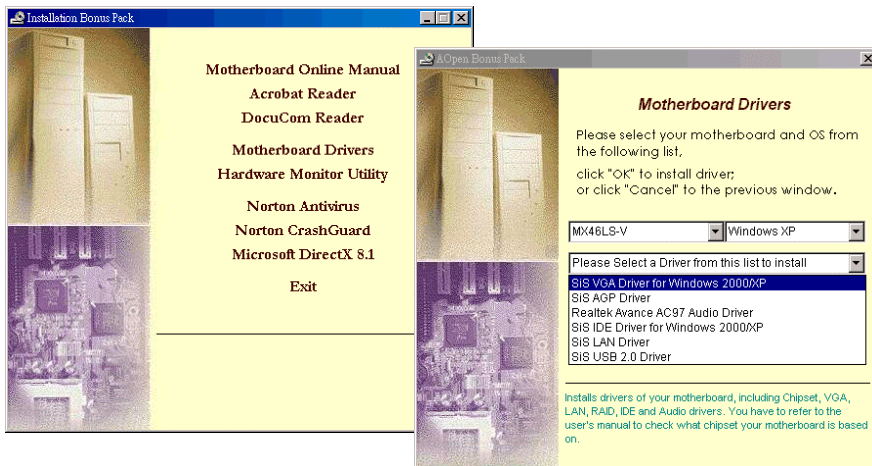
16. オンボードサウンドドライバのインストール

このマザーボードには AC97 サウンドコーデックが装備されています。このオーディオドライバは Windows 98SE 及びそれ以降の基本ソフトをサポートします。オーディオドライバは Bonus Pack CD ディスクオートランメニューから見つけられます。



15. AOpen Bonus Pack CD

Bonus CD ディスクのオートラン機能を利用できます。ユーティリティとドライバを指定し、モデル名を選んでください。モデル名を指定した後、AGP や VGA、IDE、オーディオ、LAN、USB2.0 ドライバをインストールすることができます。



17. Windows 環境における BIOS のアップグレード

下記の手順に従って、EzWinFlash で BIOS のアップグレードを完了してください。アップグレードを開始する前に、必ず全てのアプリケーションを終了してください。

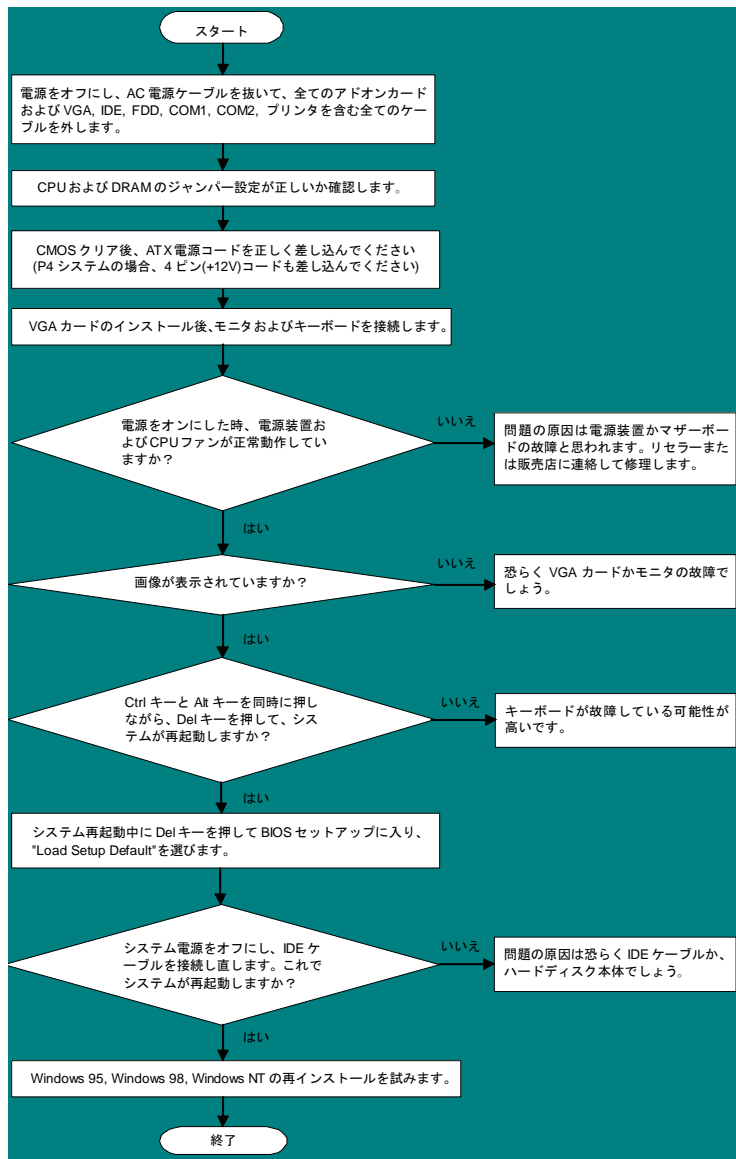
1. AOpen の公式ウェブサイトから最新の BIOS パッケージ zip ファイルをダウンロードします。Windows において、WinZip (<http://www.winzip.com>)で BIOS パッケージ(例えば、WMX46LSV102.ZIP)を解凍します。
2. 解凍したファイルをフォルダに保存します。たとえば、WMX46LSV102.EXE 及び WMX46LSV102.BIN. です。
3. WMX46LSV102.EXE をダブルクリックしたら、EzWinFlash はご使用のマザーボードのモデルネーム及び BIOS バージョンを検出します。BIOS が間違ったら、フラッシュ操作を続行することはできません。
4. 主要メニューから好みの言語を選択し、「フラッシュ開始」をクリックしたら BIOS アップグレードが開始します。
5. EzWinFlash はアップグレード作業を自動的に完了します。完了後、ポップアップダイアログボックスからコンピュータを再起動するよう聞いてきますので、「はい」をクリックして Windows を再起動します。
6. POST 時にキーを押して BIOS セットアップを起動します。"Load Setup Defaults"を選び、“Save & Exit Setup (保存して終了)”します。これで完了です。

フラッシュ処理の際は表示がない限り、電源を切ったりアプリケーションを実行したりしないで下さい!!



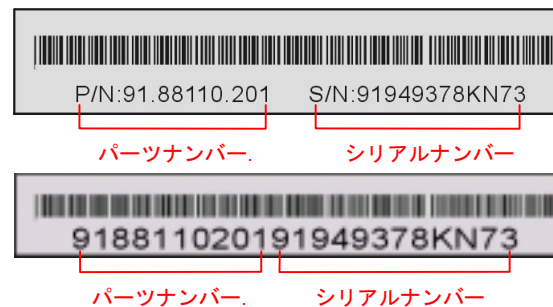
トラブルシューティング

システム起動時に何らかの問題が生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。



パーツナンバー及びシリアルナンバー

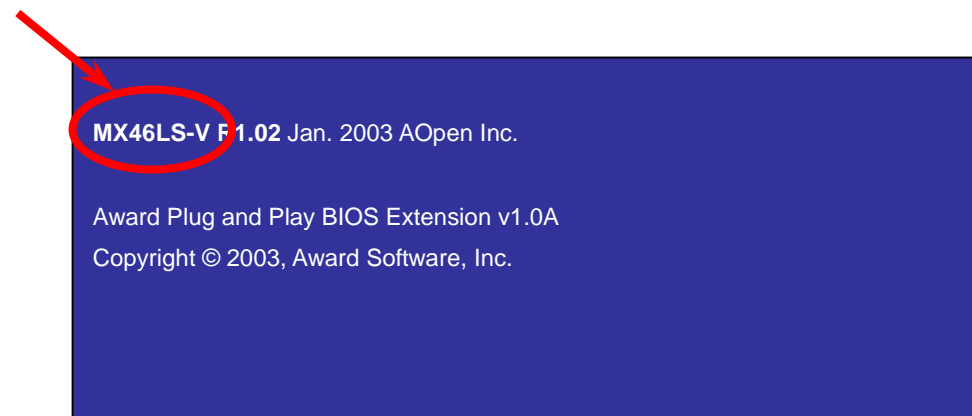
パーツナンバー及びシリアルナンバーがバーコードラベルに印刷されています。バーコードラベルは包装の外側、ISA/CPU スロットまたは PCB のコンポーネント側にあります。以下は一例です。



P/N: 91.88110.201 がパーツナンバーで、S/N: 91949378KN73 がシリアルナンバーです。

モデルネーム及びBIOSバージョン

モデルネーム及び BIOS バージョンがシステム起動時の画面 (POST 画面)の左上に表示されます。以下は一例です。



MX46LS-Vがマザーボードのモデルネームで、R1.02がBIOSバージョンです。



テクニカルサポート

お客様各位へ

この度は、AOpen 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら、毎日世界中から E メール及び電話での問い合わせが無数であり、全ての方に遅れずにサービスをご提供いたすことは極めて困難でございます。弊社にご連絡になる前に、まず下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供していただけます。

皆様のご理解に深く感謝を申し上げます!

AOpen テクニカルサポートチーム一同

1

オンラインマニュアル: マニュアルを注意深くお読みになり、ジャンパー設定及びインストール手順が正しく行われることを確認してください。
<http://club.aopen.com.tw/downloads>

2

テストレポート: 自作パソコンのための互換性テストレポートより、マザーボード、アドンカード及びデバイスを選択するようお勧めいたします。
<http://www.aopen.co.jp/tech/report/default.htm>

3

FAQ: 最新の FAQ (よく尋ねられた質問) よりトラブルの解決法が発見するかもしれません。
<http://club.aopen.com.tw/faq/>

4

ソフトウェアのダウンロード: アップデートされた最新 BIOS、ユーティリティ及びドライバをチェックして取得してください。
<http://club.aopen.com.tw/downloads>

5

ニュースグループ: コンピュータの専門家によりポストされたニュースです。勉強をかねて討論に気軽に参加してください。
<http://club.aopen.com.tw/forum/>

6

販売店及びリセラーへのご連絡: 弊社は当社製品をリセラー及び SI を経由して販売しております。彼らはお客様のパソコン状況をよく知り、弊社より効率的にトラブルを解決することができます。彼らのサービス次第、お客様が彼らに別の製品を購入する意思が大きく左右されます。

7

弊社へのご連絡: 弊社までご連絡になる前に、システムに関する詳細情報及びエラー状況を確認して、必要に応じてご提供を求められる場合もあります。パーツナンバー、シリアルナンバー及び BIOS バージョンなどの情報提供も非常に役に立ちます。

<p>ヨーロッパ AOpen Computer b.v. Tel: 31-73-645-9516 Fax: 31-73-645-9604</p>	<p>太平洋地域 AOpen Inc. Tel: 886-2-3789-5888 Fax: 886-2-3789-5899</p>
<p>アメリカ AOpen America Inc. Tel: 1-510-489-8928 Fax: 1-510-489-1998</p>	<p>中国 艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司 Tel: 86-21-6225-8622 Fax: 86-21-6225-7926</p>
<p>日本 AOpen Japan Inc. Tel: 81-048-290-1800 Fax: 81-048-290-1820</p>	<p>ドイツ AOpen Computer GmbH. Tel: 49-1805-559191 Fax: 49-2102-157799</p>

ウェブサイト: www.aopen.co.jp

電子メール: 下記の連絡フォームをご利用になり、メールでご連絡ください。

英語 <http://english.aopen.com.tw/tech/default.htm>

日本語 <http://www.aopen.co.jp/tech/default.htm>

中国語 <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>

ドイツ語 <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>

簡体字中国語 <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>